

30年後、あなたなら、どう考える！？

## 熊本市公共施設マネジメントワークショップ 報告書 2019

「持続可能なまちづくり」のために、どうする・どうなるあなたのまち！？



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 目次

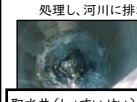
|                             |   |
|-----------------------------|---|
| DATA 熊本市の概要 .....           | 1 |
| 1. 熊本市の公共施設                 |   |
| 2. 近年の事故事例                  |   |
| 3. 公共施設の建て替え・大規模改修にかかるコスト   |   |
| REPORT 熊本市公共施設等総合管理計画 ..... | 2 |
| 1. 計画の対象期間                  |   |
| 2. 基本方針                     |   |
| 新しい「まち」づくり .....            | 3 |
| 「公共施設マネジメントゲーム」             |   |
| 公共施設マネジメントワークショップ実施状況 ..... | 4 |
| 中央区                         |   |
| 東区                          |   |
| 西区                          |   |
| 南区                          |   |
| 北区                          |   |
| アンケート結果 .....               | 9 |

# DATA 熊本市の概要

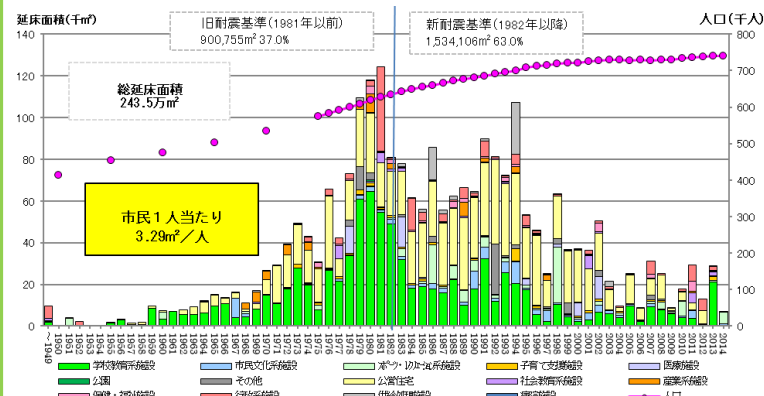
## 1. 熊本市の公共施設

本市では、高度経済成長期以降の昭和 50 年代を中心に、多くの公共施設を整備してきました。平成 27 年 4 月 1 日現在、建築物 1,527 施設（4,316 棟）を管理しており、これらの施設がこれから一斉に更新の時期を迎えます。

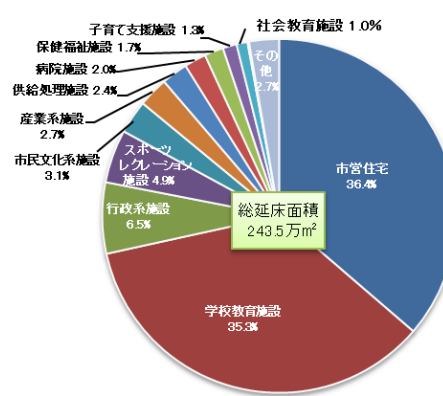
### 【主な公共施設及びインフラ】

|                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>庁舎</b> 【21 施設】<br>住民票発行などの市民サービスを提供<br>市職員の執務室など<br><br>左：議会棟 右：本庁舎（中央区役所）                            | <b>公民館</b> 【19 施設】<br>市民の自主的な学習活動（自主講座、講演会など）を支援<br>庁舎機能や児童館などを複合化<br><br>東部公民館ホール        | <b>老人福祉センター</b> 【10 施設】<br>高齢者の健康増進に向けて、各種相談業務やレクリエーションを実施<br><br>南老人福祉センター                                               | <b>スポーツ施設</b> 【39 施設】<br>生涯スポーツの拠点として、各種スポーツの施設や設備を提供<br><br>総合体育館アリーナ                            |
| <b>地域集会所</b> 【208 施設】<br>住民の地域づくり活動の拠点<br>地域コミュニティセンターや、老人憩の家など<br><br>白川地域コミュニティセンター                    | <b>図書館</b> 【20 施設】※図書室含む<br>図書などの貸し出しや相談業務を実施<br>公民館などに図書“室”を設置<br><br>森都心プラザ図書館          | <b>ホール</b> 【10 施設】<br>音楽や演劇などの会場の提供<br>12 月に熊本城ホールがオープン<br><br>市民会館                                                       | <b>博物館・美術館等</b> 【9 施設】<br>文化芸術などに関する展示・展覧会などを実施<br>特定の人物や歴史等に関する観覧施設もある<br><br>現代美術館              |
| <b>道路・橋梁</b> 【市道：3,389km】<br>【橋梁：2,866 橋】<br>安全で快適な道路環境を確保するため、道路・橋梁の新設改良、適切な維持管理を実施<br><br>子飼新大江線（交差点） | <b>河川・公園</b> 【1,088 箇所】<br>河川の改修や排水路などの浸水対策を実施<br>公園の維持管理や有効活用、新規整備を実施<br><br>健軍川（改修工事後） | <b>上下水道</b> 【上水道管路：3,482 km】<br>【下水道管路：2,618 km】<br>汲み上げた地下水を家庭などに配水<br>生活排水などを浄化センターできれいな水に処理し、河川に排水<br><br>取水井（しゅすいせい） | <b>病院・交通</b> 【軌道延長：11.9 km】<br>市民病院・植木病院の2院を開設<br>健康可～ 田崎橋（熊本駅）・上熊本駅までの2系統の市電を運行<br><br>新 熊本市民病院 |

### 【公共施設の築年別整備状況】



### 【分野別延床面積割合】



## 2. 近年の事故事例

施設の老朽化に伴う事故等が発生しており、事故の未然防止に向けて、日頃の点検や修繕等を適切に実施する必要があります。

### (全国)

#### 笹子トンネル天井板落下事故

- 2012.12.2 天井コンクリート板 130mにわたり落下
- 事故要因:施設の老朽化、点検不備



### (熊本市)

#### 外壁・内壁などの落下



国際交流会館（内壁落下）

#### 道路の陥没や水道管破裂の事故

管路の破損に起因して道路陥没や水漏れ



- 平成31年1月下旬にすべての公共施設の緊急点検を実施
- その後も、再点検や要修繕箇所の修繕等を随時実施している



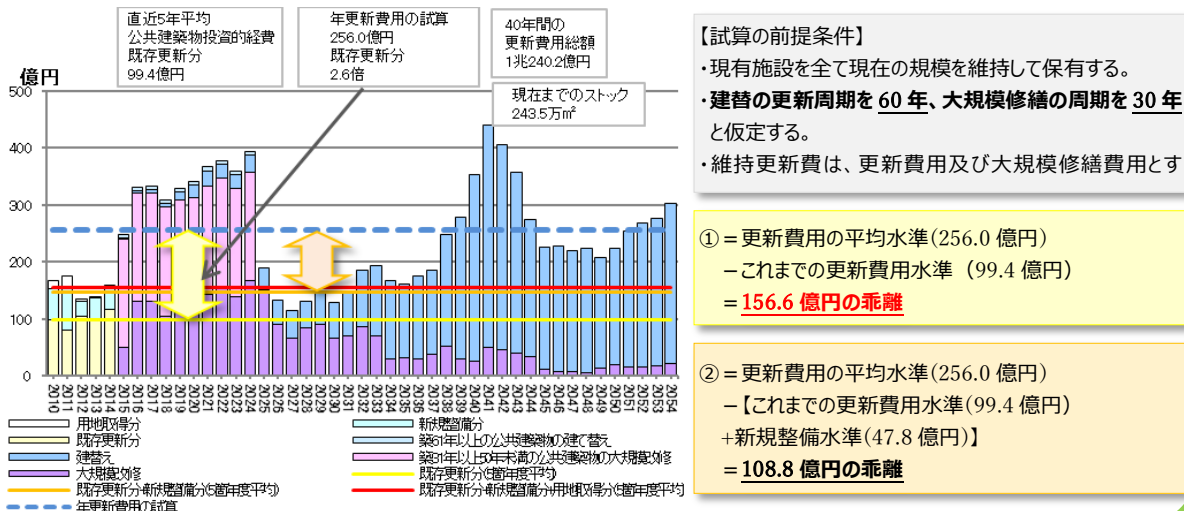
## DATA

### 熊本市の概要

#### 3. 公共施設の建て替え・大規模改修にかかるコスト

これまでに整備してきた公共施設の今後の更新等に要するコストを次のとおり試算しています。平成 28 年度からの 40 年間で 1 兆円以上のコストが見込まれており、コストの抑制や平準化を図る必要があります。

【公共施設の建替え・大規模改修にかかるコスト試算】※道路等のインフラは含まれていません。



## REPORT

### レポート

## 熊本市公共施設等総合管理計画

本市の、今後の公共施設マネジメントの取組の指針として「公共施設等総合管理計画」を策定しました。

#### 1. 計画の対象期間

計画期間は総合的管理の観点から中長期的なものとする必要があります。

高度経済成長期に建設された建築物やインフラ資産の建て替え・更新時期を見据え、平成 28 年度から 40 年間を対象期間とします。

#### 2. 基本方針

本市が財政の持続可能性を維持しながら、公共施設等を安全かつ適切に維持していくための 3 項目を基本方針としています。

##### 方針 1

#### 資産総量の適正化

公共施設等の設置目的及び人口減少や年齢構造の変化に起因する市民ニーズを踏まえた施設の役割・必要性について検討を行い、費用対効果を見極めながら資産総量の適正化に取り組みます。

##### 方針 2

#### 施設の長寿命化の推進

今後も活用していく公共施設については、定期的な点検・診断により計画保全に努め、計画的な維持修繕によって長寿命化を図り、長期的な視点で財政負担の軽減と平準化に取り組みます。

##### 方針 3

#### 施設運営に要する総コストの削減

施設新設にあたっては、整備後の補修を考慮した設計を行いコスト抑制できるような工夫も行います。また、民間企業等のノウハウや資金を積極的に活用することも検討し、PPP/PFI 手法など、民間活力の導入にも積極的に取り組みます。



## 新しい「まち」づくり

本市では、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の総合的かつ計画的な管理・活用を推進しつつ、公共施設マネジメントを通じた「上質な生活都市」の実現に向けた取組を行っています。

これらの取組に向けて、市民の皆さまと本市の公共施設の現状や、公共施設マネジメントの取組について情報を共有するとともに、これからの公共施設のあり方、本市のまちづくりについて考える機会として、ワークショップを開催しました。



### ワークショップルール

- 熊本市が運営する公共施設の配置計画を考えるゲームです。
- 予算に限りがあるなかで、**増加する高齢者**、**減少する子ども**に対応できるように、**公共施設を建てたり、なくしたり**してください。
- 計画は、**15年後と30年後**の2回分作ります。
- 1回につき**20分**で考えてください。
- 最終的に、子どもコマ・高齢者コマのすべてを施設カードに**乗せて**、**余らせたコストコマが多い**チームが勝ちとなります。

子ども  
コマ



高齢者  
コマ



コスト  
コマ



手持ちコマはすべて  
施設カードに乗せる



できるだけ  
あまらせる



### 【ゲームにおける役割】

- 市長
- PTA 役員
- スポーツ団体役員
- 公民館利用者
- 文化振興団体役員
- 読書家
- 福祉センター利用者



あなたは・・・  
**市長**

- ・ あなたは、この街の市長です。
- ・ 市長として、「持続可能なまちづくり」を目指してください。
- ・ なるべく多くの方から意見を聞いて進めてください。
- ・ 各回の最後の5分間になっても意見がまとまらない場合は、あなたが決めてください。

※公共施設マネジメントゲーム作成には、さいたま市、千葉市、柏市にご協力いただきました。

また熊本大学、熊本県立大学、熊本学園大学と連携し、ワークショップを実施いたしました。

## 中央区 ワークショップ

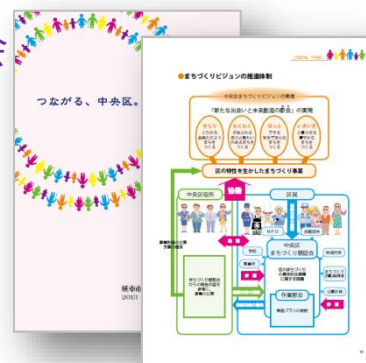
めざす区の姿

## 新たな出会いと未来創造の都会 ～つながる、中央区。～

令和元年 11 月 27 日 熊本学園大学 (28 人)

### ○中央区まちづくり方向性

- 方向性 1. “きらり”とひかる品格ただよまちをつくる
- 方向性 2. “わくわく”があふれる活力と賑わいのあるまちをつくる
- 方向性 3. “ほっと”できる安全で安心なまちをつくる
- 方向性 4. “いきいき”と暮らせる健やかなまちをつくる



中央区まちづくりビジョン

### ○ワークショップ風景



### ○グループコメント

- A 班：1 回目はコスト重視、2 回目は住民の意見を重視したまちづくりを実施した。  
民意を反映させたまちづくりの難しさを感じた。
- B 班：少子高齢化という社会情勢を踏まえたまちづくりの難しさを感じた。  
災害発生時に限られた資金で高齢者の居場所を作るのに苦慮した。
- C 班：住民の意見を反映させて様々な種類の施設を建設した。  
市民の要望に応えることができた。
- D 班：ワークショップを通してコスト意識を持ってまちづくりを行った。  
2 回目のワークショップではコンパクトシティを目指して小学校を 1 地区に集約した。
- E 班：市民の声を重視したまちづくりを実施。市民センターの比率を増やした。  
最終的に高齢者の居場所づくりにとまどったが住みよいまちづくりができた。
- F 班：ワークショップではバランスのいいまちづくりができた。

### ○識者コメント

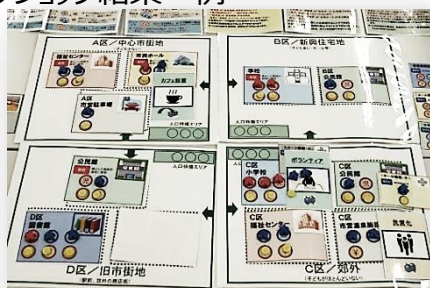
<熊本学園大学大学院会計専門職研究科 角田准教授>

- ・会社と違い、国や地方公共団体は単にコストを削減すれば良いというわけではない。会社では利益の追求がメインだが、国や地方公共団体は住民の満足度を高める必要があり現実には厳しい。

<熊本学園大学商学部非常勤講師 法師山税理士>

- ・案をまとめるためには人の意見を聞くことが重要。学生にとっては教室を離れて大人と意見を交わすことがいい経験になったと思う。

### ○ワークショップ結果一例





## 東区 ワークショップ

めざす区の姿

自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区

令和元年 10 月 31 日 東部公民館（16 人）

### ○東区まちづくり基本方針

- 基本方針 1. 人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち
- 基本方針 2. 誰もが安全で安心して過ごせるまち
- 基本方針 3. 誰もがいきいきと暮らせるまち
- 基本方針 4. 美しい自然を守り育てふれあえるまち
- 基本方針 5. 暮らしやすく活気あふれるまち



東区まちづくりビジョン

### ○ワークショップ風景



### ○グループコメント

- A 班：老朽化対策を優先して実施。対策は施設の新設と複合化をバランスよく実施した。  
学校で複合化を 2 重に実施。高齢化対策を行った。  
市民から財源確保のため低コストの小学校に児童を集約する意見が出たが、子どもが多い地区の住民のニーズにこたえ B 区の小学校は残すなど市長の役目を果たせた。
- B 班：老朽化対応に加え、住民の利便性を考えたまちづくりを実施した。  
学校や福祉センターは対角線上に配置。どの区からも利用できるようにした。
- C 班：効率重視のまちづくりを実施した。  
低コストで運営ができる小学校を残し、古い建物はすべて新築した。  
効率重視の中でも市民の要望には応えることが出来た。

### ○識者コメント

＜熊本県立大学総合管理学部 澤田教授＞

- ・各自が役割を全うすることで、自分の権利が侵害されないように意見を主張し、まちづくりに反映させることができるところがこのワークショップの醍醐味。
- ・複合化や民営化、規模に対してコストが大きい施設を廃止する等、自治体や住民がどう考えるかを疑似体験できる。
- ・ワークショップを通して熊本市全体で施設を維持するコストと利便性のバランスをとることが重要ということを学ぶのにいい機会となった。

### ○ワークショップ結果一例



## 西区 ワークショップ

## めざす区の姿 金峰望む 華のあるまち西区

令和元年 10 月 25 日 西部環境工場（19 人）

### ○西区まちづくり重点的取り組み

- 取り組み 1. 安全安心のまちづくり
- 取り組み 2. 子育てしやすいまちづくり
- 取り組み 3. 楽しさあふれるまちづくり
- 取り組み 4. 農水産業を生かしたまちづくり



西区まちづくりビジョン

### ○ワークショップ風景



### ○グループコメント

- A 班：コスト削減、費用対効果メインにゲームを進行した。  
実際の西区の現状（松尾地区 3 小学校の小島小学校への統合）を鑑み小学校は C 区  
のみにした。住民の要望に応えた上で十分な財源を確保できたことで災害にも対応できた。
- B 班：1 回目は効率的なまちづくり、2 回目に魅力的なまちづくりを目標にした。  
1 回目終了時のまちは費用対効果を考えすぎて実際に住みたいと思えなかった。  
2 回目は住民の意見を反映したまちづくりができた。
- C 班：1 回目は施設の廃止・新設、2 回目は複合化に重点を置いた。  
災害対応の財源確保は重要。避難場所（小学校等）は確保しておきたいという意見あった。  
既存建物の複合化により低予算での課題解決も可能となることが分かった。
- D 班：バランスのいいまちづくりができた。コスト面を考えて配置した。  
施設の複合化により、どの地区の住民も楽しめるまちづくりができたと思う。

### ○識者コメント

- <熊本大学大学院先端科学研究部 本間准教授>
- ・建設に対しコスト意識を持つことができるのがいい点
  - ・施設マネジメントの中での最重要項目はコスト。土地建物の取得・建設費用は、建物を建てて、使って、解体までにかかる総コストのうち約 3 割。残りの 7 割は維持管理、解体費用。建物の新築は慎重に行う必要がある。
  - ・ワークショップを通してコスト重視の考え方ができていた。

### ○ワークショップ結果一例





## 南区 ワークショップ

めざす区の姿

～みんなでつなぎ、みがき、ひろげる～

いきいき暮らしのまち 南区

令和元年 11 月 15 日 富合公民館（27 人）

### ○南区まちづくり基本目標

- 目標 1. 農と漁業を誇れるまち
- 目標 2. 歴史・文化を育むまち
- 目標 3. 自然と共生した住みやすいまち
- 目標 4. みんなが健康で元気なまち
- 目標 5. 地域ぐるみで子どもを育てるまち
- 目標 6. 安全・安心なまち



南区まちづくりビジョン

### ○ワークショップ風景



### ○グループコメント

- A 班：老朽化問題で悩んだが、最終的に目標達成出来た。費用面ばかりに気を取られ過ぎて、市から活気が無くなった。公民館や図書館を新設して、コストこそ余らせることはできなかったが、良いまちづくりが出来た。勝負には負けたが、いいまちづくりが出来た。
- B 班：一回目は全ての住民の意見を反映しつつコストも余らせることが出来た。2 回目は災害があり、急な出費が発生したが費用を余らせつつ、ある程度住民の意見を取り入れることが出来た。
- C 班：一回目は B 区のみ高齢者が多くなってしまったが、2 回目はバランスの取れたまちづくりが出来たので良かった。
- D 班：1 回目は住民の意見を取り入れることが出来た。2 回目はコスト削減を重視し、駅前を活性化させた結果、B 区は図書館と公民館機能のみになったが市全体で見るとバランスは取れたと思う。

### ○識者コメント

<関西学院大学商学部 吉川准教授> ※前熊本学園大学

- ・行政運営は収支を合わせて、利益の最大化でなく、住民の満足度を最大化させることが大事で、話し合いが出来たのは非常に良かった。
- ・ワークショップを通して、地域を考える意識付けが出来た。実際に「南区をどうしよう」、具体的な話し合いを進めるきっかけになったのが非常に大切。いい機会をいただいた。

### ○ワークショップ結果一例



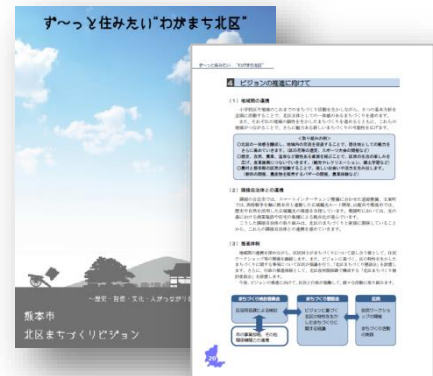
## 北区 ワークショップ

## めざす区の姿 ず〜っと住みたい“わがまち北区”

令和元年 10 月 8 日 龍田公民館（22 人）

### ○北区まちづくり基本方針

- 方針 1. 健康と暮らしの安全・安心の向上
- 方針 2. 住みやすい住環境の整備
- 方針 3. まちの賑わいと産業の振興
- 方針 4. 地域資源の承継と活用
- 方針 5. 住民自治と協働の推進



### ○ワークショップ風景



北区まちづくりビジョン

### ○グループコメント

- A 班：学校が残された校区が少なくなったが、高齢者が増えたのでそれに配慮して取り組んだ。
- B 班：2 回目の結果は若干変わった。若手と年配の考え方が違っているが、良い判断をして、将来の事を考えられたのではないかと感じた。市長として皆さんに判断を任せることができた。
- C 班：どの区もまんべんなく住みやすいような地区づくりを試みた。小学校よりスポーツ施設や公民館が多かった。コストを削減する上では民間の力が必要ではないかと感じた。小学校が 1 つしかなくなったので、余ったコストで交通バスなどの充実を考えたらより住みやすくなると思った。
- D 班：役割の要望に叶うようなまちづくりができた。2 回目は災害があって、最終的にはお金を捻出できたのだが、施設の新設、複合化、民営化などでカードが動かせる場所が無くなってしまった。高齢者の免許返納の問題もあり、駐車場も今後は不要になってくるのではないかと意見が出るなど、現実の社会課題に沿ったまちづくりに取り組むことができた。

### ○識者コメント

＜熊本大学大学院人文社会科学部 大野准教授＞

- ・地域特性を網羅している点に感心した。市民側がどう施設を作るのか、どう選択をするのかに視点が置かれていたのが重要である。
- ・民営化、複合施設のものが出ており、このような取り組みは行政と民間企業の話になるが、利用者（市民）側も一体となって考えることが重要であることが理解できる。

### ○ワークショップ結果一例

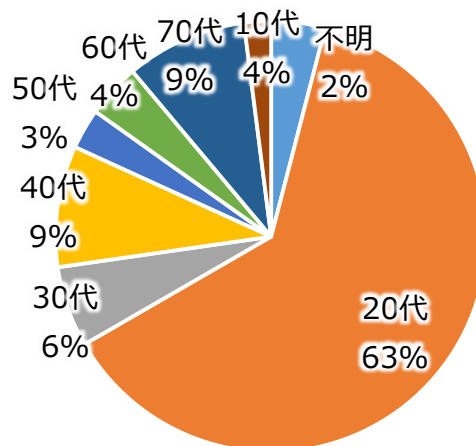


## アンケート 結果

令和元年（2019年）10月8日～11月27日に実施した  
公共施設マネジメントゲームの参加者アンケート結果です。

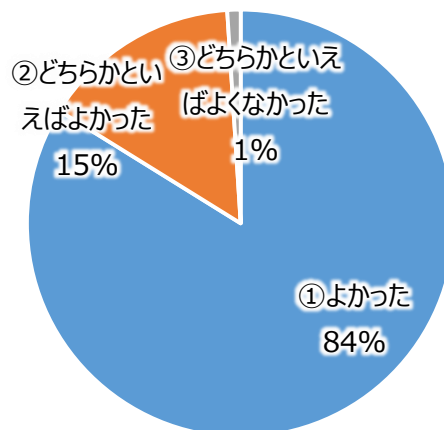
### （質問1）

あなたの年齢を教えてください。



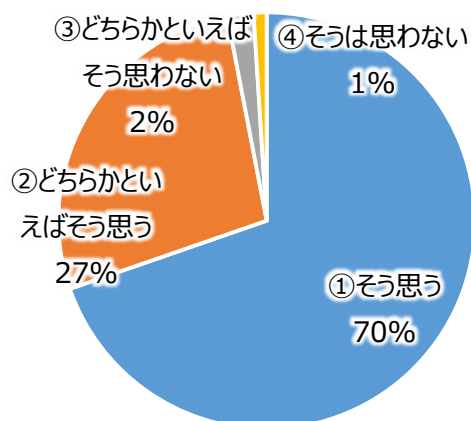
### （質問2）

本日のワークショップに参加されていかがでしたか。



### （質問3）

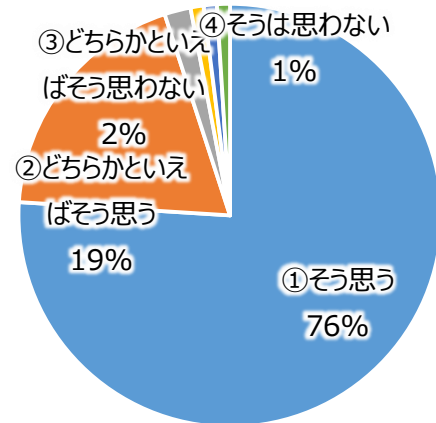
熊本市における公共施設マネジメントの概要  
について理解は深まりましたか。





#### (質問 4)

「公共施設マネジメントゲーム」をやってみて、公共施設のマネジメント（公共施設の規模適正化・再編など）の必要性について理解は深まりましたか。

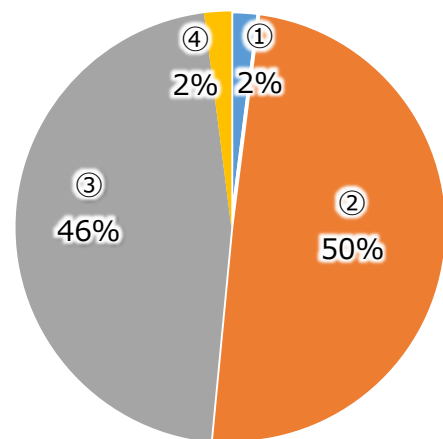


#### (質問 5)

公共施設の老朽化問題とそれに伴う財政負担について、どのように取り組むべきだとお考えですか。

##### 【選択肢】

- ① 負担が増えても、現存する公共施設等を今の水準・規模で建替える
- ② 現存する公共施設等に優先順位をつけて、施設の更新時に、必要なものだけ建替えを行う
- ③ 将来世代に負担がかからないようにするため、早期に公共施設の規模適正化・再編等に取り組む
- ④ その他



#### (質問 6)

その他、本市の公共施設のあり方についてご意見やお気づきのことがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・施設の老朽化だけではなく、市民の意見も聞きながら行動していくことが大事（10 代・中央区・学生）
- ・民営化も含め、このような形で課題や方向性を市民の皆様と共に考えていく機会を増やすことは有意義だと感じた。（40 代・中央区・一般）
- ・コストや住民の意見の尊重など、様々な条件があるため、思っていた以上に難しい。（20 代・学生・東区）
- ・公共施設建設の際、将来を見極める重要性が理解できた。（40 代・西区・一般）
- ・ゲーム感覚で楽しめた。若い人たちと一緒にまちづくりについて話し合いを深めることができてよかった。（60 代・南区・一般）
- ・ゲームを通じて、公共施設のマネジメントがいかに大変なのか分かった。（20 代・南区・学生）
- ・市民のニーズをできるだけ満たし、ニーズを汲み取って進めてほしい。（20 代・北区・学生）